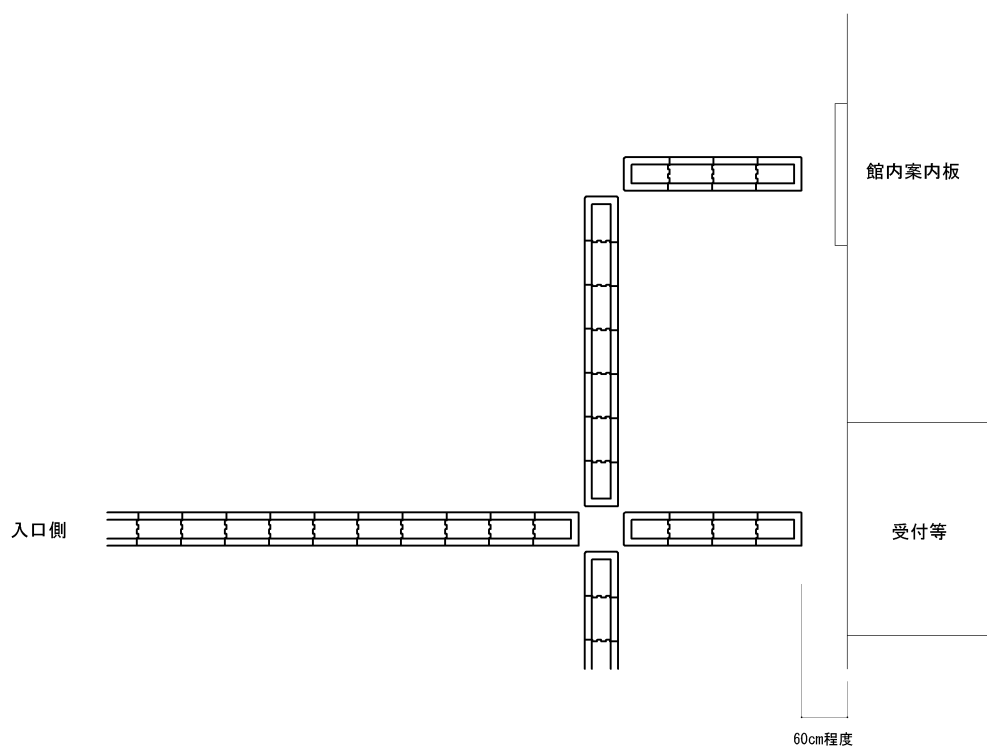


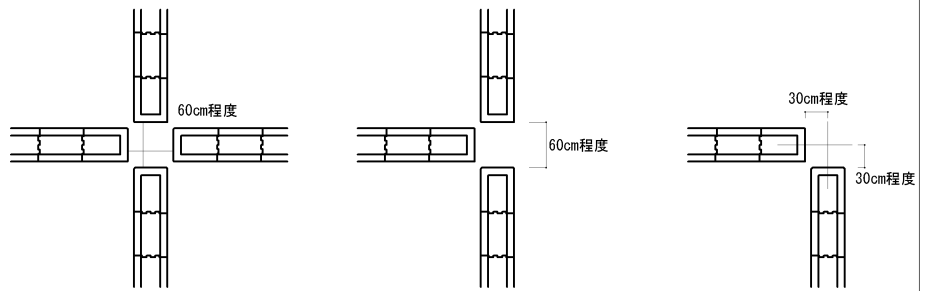
○受付カウンター、館内案内板等



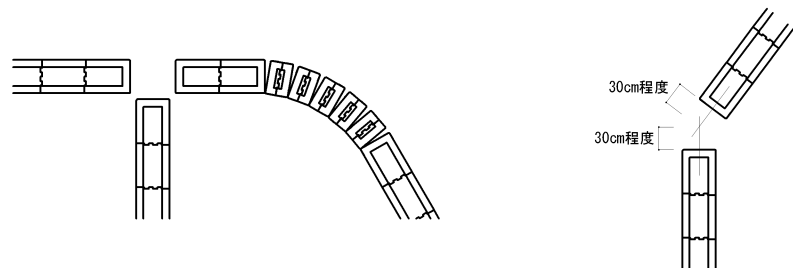
歩導くん敷設要領

○交差点・曲がり角

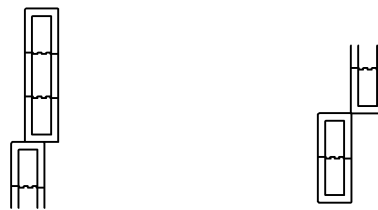
交差点では、60cm程度の間隔をあける。



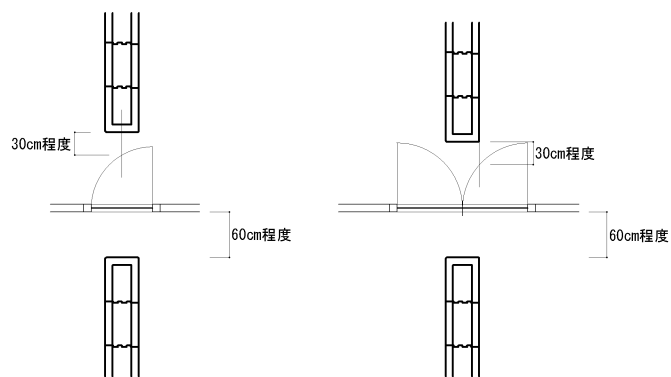
○ゆるやかな曲がり角



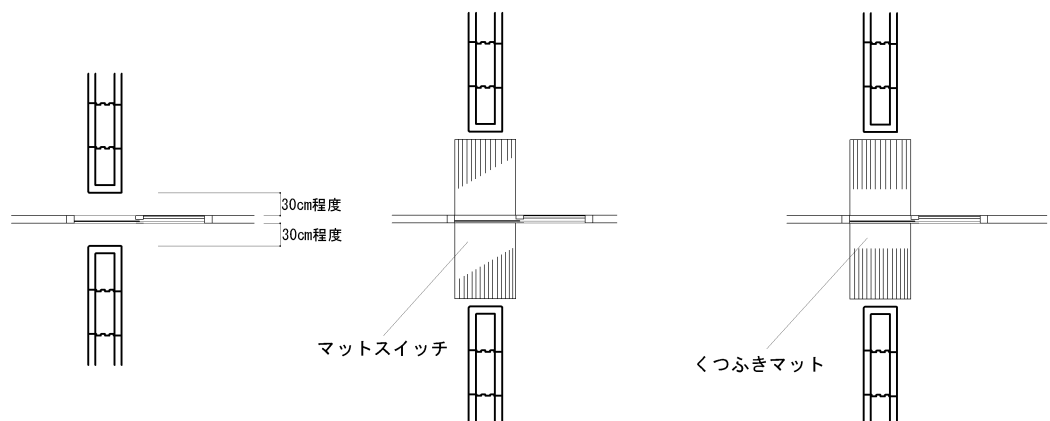
○直線をずらす場合



○出入口（扉）

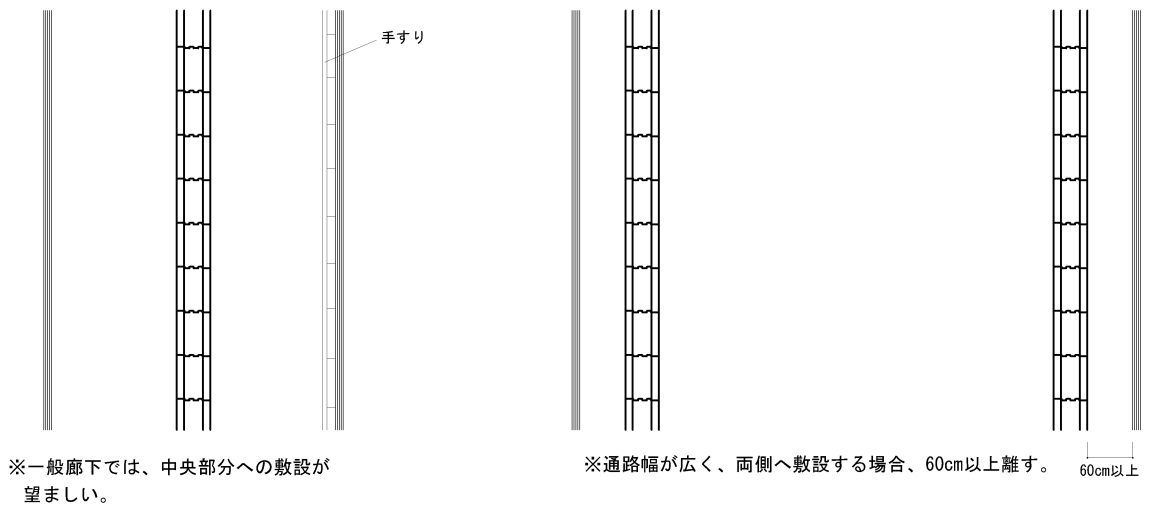


○出入口（自動ドア）

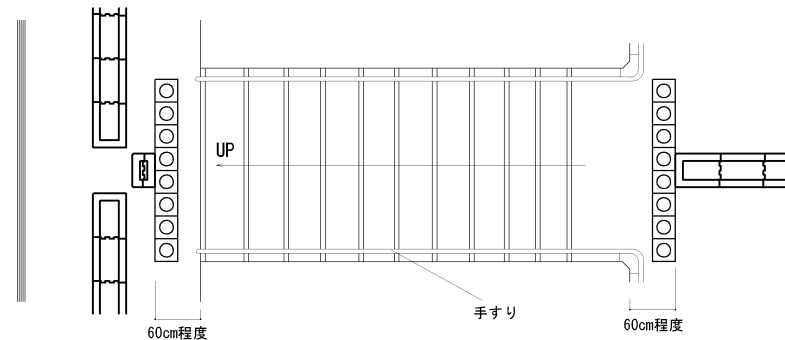


歩導くん敷設要領

○廊下

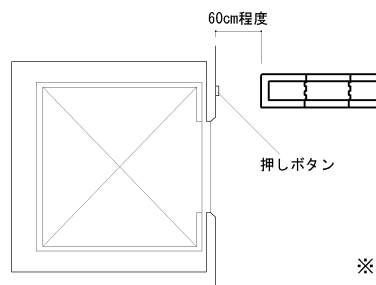


○階段



※ 段差又は傾斜路については存在を警告するものとして点状ブロック等を使用する。

○エレベーター



※押しボタン側に向かって敷設します。

○防火扉

※防火扉開閉時に引っかかり等無いように敷設します。

○その他

※周囲の状況を考慮し、視覚障害者の方が容易に確認できてわかりやすい方法で敷設することが望ましい。

弱視の方のために、歩導くんの色は、床との色の差を設けること。
(例) 明るい床であれば、緑色。 暗い床であれば、黄色。